

# マグネシウム板材のプレス加工技術による名刺入れのデザイン開発

石川 章弘\*

## 1. はじめに

平成 19 年より茨城県内企業にて茨城マグネシウム工業会を立ち上げ現在 44 社で活動している。

そのメンバー企業である山野井精機では金属プレス加工技術を有しており、その技術によりマグネシウム板材を使った名刺入れ試作を行うため、そのデザイン開発を支援した。

## 2. 現状分析

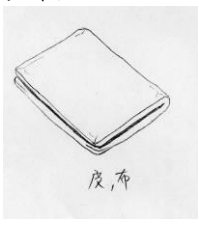
市販の名刺入れについて百貨店などにて店頭調査、インターネットにて検索調査を行った。

店頭調査場所	西武百貨店（東京） 東武百貨店（〃） ララガーデン（茨城県つくば市） ららぽーと柏の葉（千葉県柏市）
ネットショップ	楽天 Yahoo！
その他	ネットの画像検索など

調査の結果、名刺入れのタイプは表 1 のとおり 3 タイプに大別された。形態による違いよりも、素材や色、柄の違いにより変化をつけたものが多い。

この調査の結果から、素材や色や柄での差別化は競合が多いため形態による差別化のほうが有効な手段と考えられ、その場合、金属プレス技術のシーズを活かすことを考慮すると上蓋型またはスライド型がデザイン案としてふさわしいと考えられる。

表 1 名刺入れ調査結果

二つ折型	タイプ 1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的に見られるものである。</li> <li>布製、革製が多い。ナイロン生地も有り。</li> <li>色味、素材、色柄などの違いにより、多種多様である。</li> <li>片面のみ名刺が入るタイプ、両面に入るタイプ。</li> <li>ベルトやボタンなどにより、自然に開くことを防いでいるものもある。</li> </ul>
		

上蓋型	タイプ 1-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記の亜種。</li> </ul>
	タイプ 2-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常に多く見られる型。</li> <li>横型、縦型がある。(図は横型)</li> <li>蓋部の絵柄をアレンジすることで他製品と差別化を図っている。</li> </ul>
スライド型	タイプ 2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定のブランドのみで出しているようである。</li> <li>金属に合皮を貼った素材。</li> <li>縦開き、横開きがある。(図は縦開き)</li> </ul>
	タイプ 3-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属製</li> <li>指で中の名刺をスライドさせて一枚取り出す。</li> <li>ヒンジで上蓋と本体が接合されており、上蓋を全開することで名刺を入れられる。タイプ 2-1 の亜種とも言える。</li> </ul>
	タイプ 3-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>中箱と外箱の二重構造。</li> <li>中箱に名刺が入っており、外箱のすき間から中箱をスライドさせる。</li> </ul>

## 3. デザイン

調査結果をふまえ、以下の過程ごとに企業と打合せを重ねてデザインをすすめた。

- ・アイディアスケッチ
- ・投影図スケッチ
- ・三面図

最終案として、表 2 のコンセプトや特徴、図 1 のデザインとした。

また、本案により企業で試作した名刺入れは図 2 である。

\*紬技術部門

表2 コンセプト, 特徴など

品名	パーティション付きマグネシウム製カードケース
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マグネシウム使用で軽量</li> <li>・パーティション付きでいろいろな用途に使い分け</li> <li>・上蓋に穴を設け残量を見られる</li> </ul>
パーティションの用途例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス&amp;プライベート</li> <li>・自分の名刺&amp;相手の名刺</li> <li>・名刺&amp;社員証など</li> </ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20代から40代の女性, OL, キャリアウーマン</li> <li>・小物にもある程度の出費を惜しまない</li> </ul>
デザイン	高級ブランドを想起させるような。ルイヴィトン, コーチ, など高級ブランドのモノグラム的なものをイメージし, 伝統的なパターン柄を全面に配置。

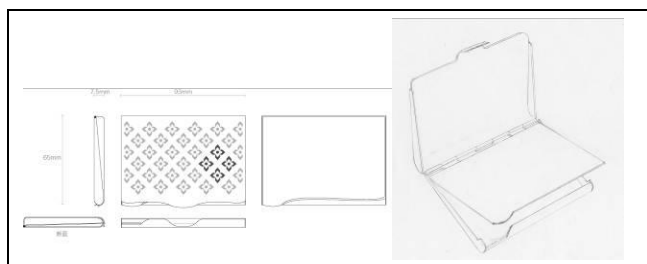


図1 三面図, 投影図スケッチ

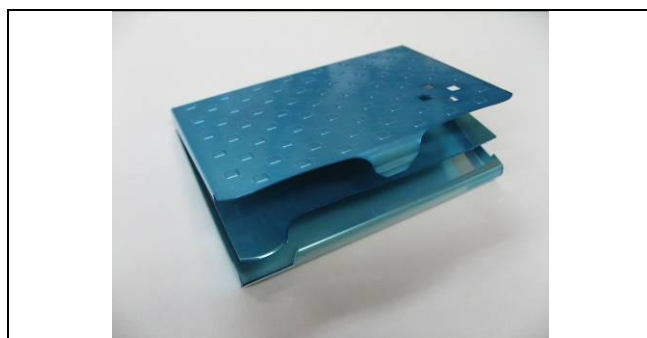


図2 試作品

#### 4. 結果とまとめ

本試作品は国際マグネシウム展 inつくば2008(2008年11月27日から28日)に出展され, 反響として「注文したい」「取引したい」という声があったとのことである。

マグネシウム板材は温間プレスする必要がある, 今後はいかに量産体制を築くかが課題としてあげられる。